

2004年1月22日

各 位

三井化学株式会社

弊社名古屋工場における 土壌・地下水汚染に関する自主調査結果の公表について

三井化学株式会社名古屋工場では、全社的な環境問題への積極的な取り組みを踏まえ、名古屋工場の自主的取り組みとして、土壌・地下水汚染に関する調査を実施してまいりました。

今般、調査結果がまとまり、名古屋市への報告と併せて本日(22日)公表させて頂きましたので、その概要につき別紙の通りお知らせします。

弊社は、汚染物質への対策につきましては、汚染物質は工場敷地外に出さない 敷地内の汚染物質は当社の管理下におくとの方針で、取り進めております。

今後、名古屋市のご指導を仰ぐとともに、近隣住民の皆様のご理解をいただきながら、対策を講じていきたいと考えております。

以上
(別紙:次ページ以降に添付)

2004年1月22日

三井化学株式会社
名古屋工場

三井化学(株)名古屋工場の土壌・地下水に関する自主調査結果の公表について
(概要)

1. 調査結果

(1) 地下水の状況

- ・工場境界の大部分の地点では環境基準値以下で問題ありませんが、国道23号線東側工場(以下「東工場」)高速道路沿いの限られた地点で環境基準値を超える揮発性有機化合物(以下「VOC」)が検出されました。
- ・敷地内の大部分の地域では環境基準値以下で問題ありませんが、東工場及び国道23号線西側工場(以下「西工場」)の一部地域(注)で、環境基準値を超えるVOC汚染があることが判明いたしました。

(注)一部地域とは、メタン塩化物及び塩ビモノマー生産設備の跡地です。

(2) 土壌の状況

上記一部地域で、地下水と同様VOCによる土壌汚染がありました。

2. 推定される汚染原因

関係する資料や情報を調査しましたが、汚染原因に結びつく事実は得られませんでした。これまでの調査から、過去のプラント操業過程における何らかの原因による漏出と推定されます。

3. 実施中の対策

2001年より汚染源と考えられる上記一部地域と東工場高速道路沿いの境界に井戸を設置し、地下水を汲み上げています。これは、汚染の浄化と拡散を防ぐ目的で実施しています。

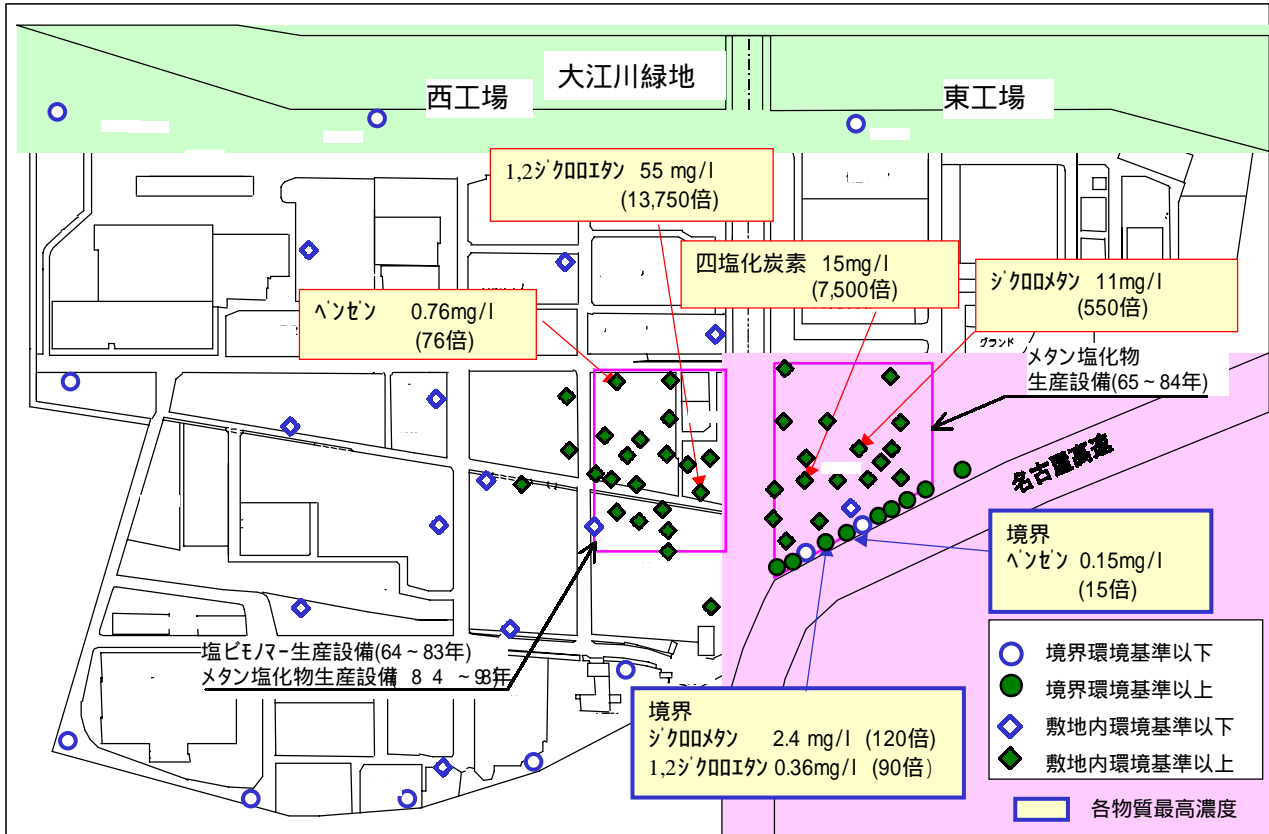
その結果、これらの地点での地下水の汚染は大幅に改善されています。なお、汲み上げた地下水は活性炭による処理設備で適切に処理しています。

4. 地域環境への影響

- (1) 地下水については、日常飲用していない限り心配はないと考えています。周辺の使用井戸については、名古屋市によって今後水質調査が行われると聞いております。

- (2) 空気中のVOC濃度を測定しました。その結果、環境基準値以下であり、また名古屋市の他地区の調査結果とほぼ同じ値でしたので、大気への影響はないものと考えております。

2003年11月(最新)の最高濃度検出地点



()内は、環境基準値に対する倍率を示します。

(ご参考)

VOCとは

揮発性有機化合物(Volatile Organic Compounds)の略称です。

常温で蒸発・気化する有機化合物の総称で、プラスチックの原料や電気・機械部品の洗浄剤等として、1950年代から世界中で広く使用されています。

環境基準とは

環境基本法に定められており、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準のことで、環境基準値はそれぞれの物質ごとに定められている値です。